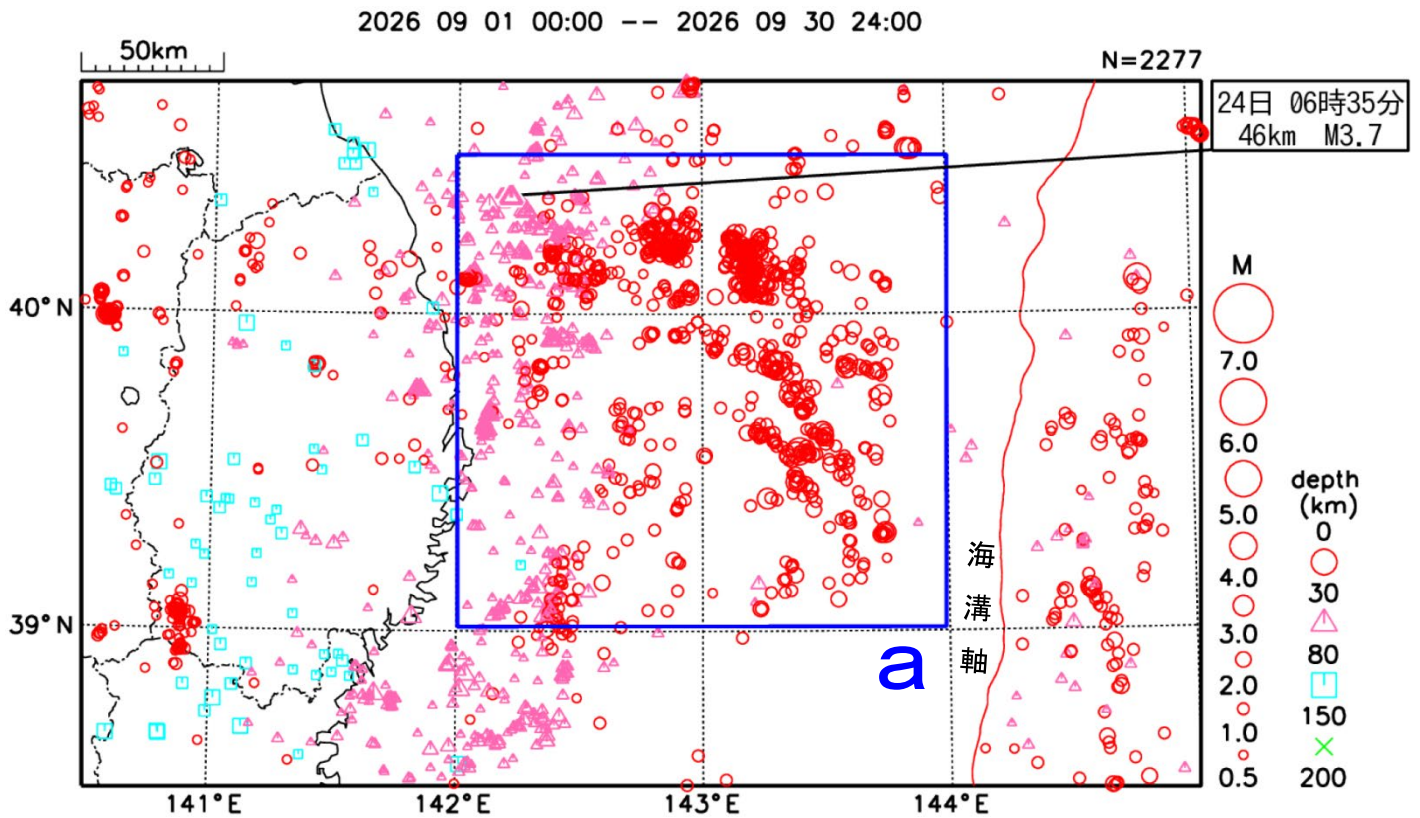


岩手県月間地震概況

2026（令和8）年9月

盛岡地方気象台

震央分布図



※吹き出しをつけた地震は概況でふれたものである。

【概況】

今期間、岩手県内で震度1以上を観測した地震は18回（8月：25回）、震度3以上を観測した地震はなかった（8月：4回）。

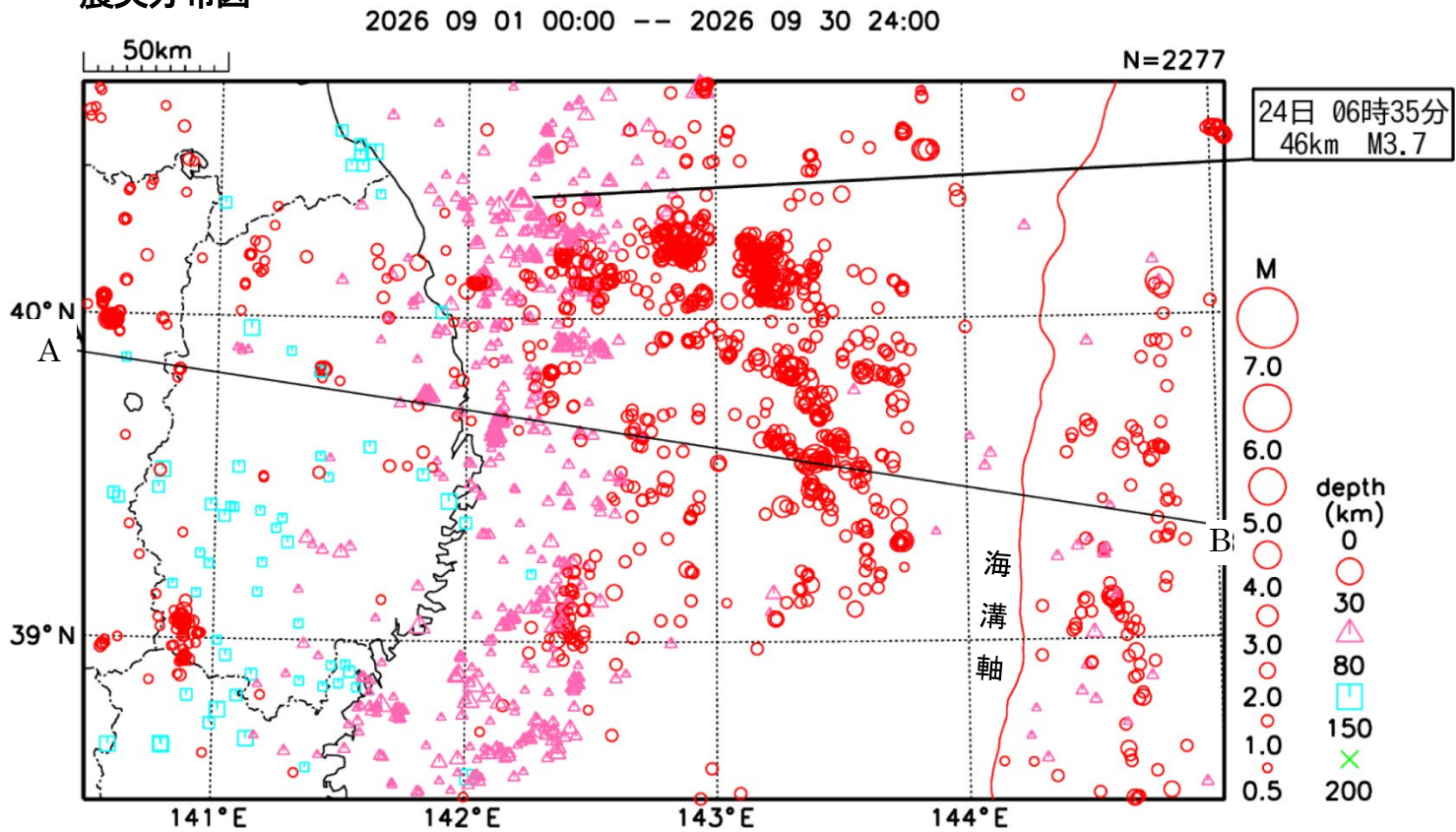
三陸沖・岩手県沖の領域（領域a）では、2025年11月9日にM6.9の地震、2026年4月20日にM7.7の地震が発生するなど活発な地震活動が継続している。

24日06時35分に岩手県沖の深さ46kmでM3.7の地震が発生し、県内では、軽米町で震度2を観測したほか、沿岸北部を中心に震度1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。領域a内で、9月1日から30日までに県内で震度1以上を観測した地震が6回（震度2：1回、震度1：5回）発生した。

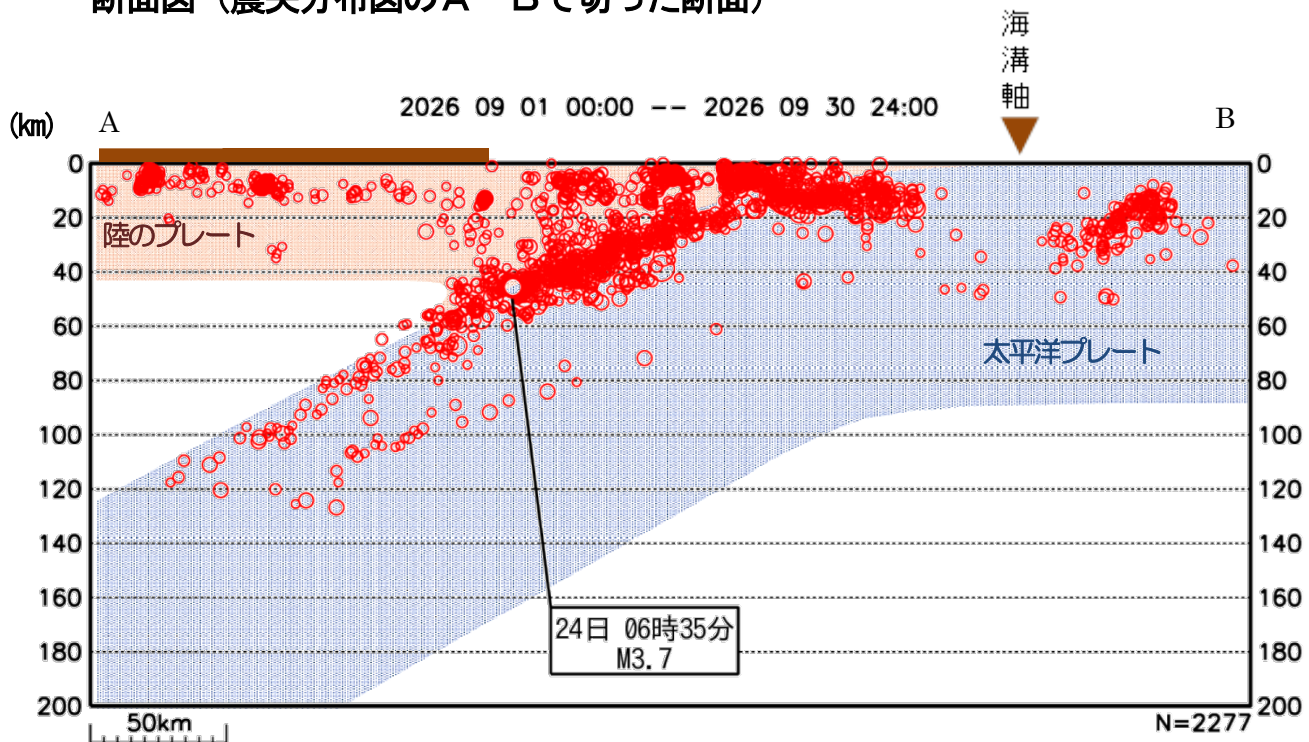
震度分布：<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html#20260924063521>

【注】各地の震度の詳細については、「岩手県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。なお、使用した震源要素等は再調査により変更することがある。

震央分布図



断面図（震央分布図のA－Bで切った断面）



※陸地から遠く離れた海域（概ね陸地から200 km以遠）ほど震源の深さ精度は良くない。断面図で見られる沖合の地震の震源は、実際にはより浅いところ（深さ10～30km）のものが多いと考えられる。

※  は陸地の大まかな位置を示している。

※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

岩手県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2026年 9 月 1 日～2026年 9 月30日

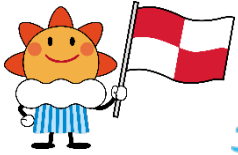
発 震 時	震 央 地 名	北 緯	東 経	深 さ	規 模
各地の震度					
2026年09月02日04時21分	青森県東方沖	41° 34.5' N	142° 05.6' E	54km	M4.4
岩手県	震度 1 : 久慈市枝成沢 盛岡市薮川＊ 軽米町軽米＊				
2026年09月04日12時51分	岩手県沖	40° 19.4' N	142° 16.6' E	44km	M3.9
岩手県	震度 1 : 盛岡市薮川＊ 軽米町軽米＊				
2026年09月04日21時09分	宮城県沖	38° 47.9' N	141° 40.1' E	67km	M3.7
岩手県	震度 2 : 一関市千厩町＊ 一関市室根町＊				
	震度 1 : 大船渡市大船渡町 大船渡市猪川町 陸前高田市高田町＊ 釜石市只越町 釜石市中妻町＊ 住田町世田米＊ 大槌町上町＊ 花巻市東和町＊ 北上市柳原町 北上市相去町＊ 一関市大東町 一関市東山町＊ 一関市藤沢町＊ 平泉町平泉＊ 奥州市衣川＊				
2026年09月06日14時15分	青森県東方沖	40° 42.5' N	142° 56.2' E	39km	M4.8
岩手県	震度 2 : 盛岡市薮川＊ 二戸市浄法寺町＊ 八幡平市田頭＊ 八幡平市野駄＊ 軽米町軽米＊				
	震度 1 : 宮古市鉾ヶ崎 宮古市五月町＊ 宮古市川井＊ 宮古市区界＊ 宮古市田老＊ 久慈市川崎町 久慈市枝成沢 久慈市長内町＊ 山田町大沢＊ 普代村銅屋＊ 岩手洋野町種市 大船渡市大船渡町 釜石市中妻町＊ 住田町世田米＊ 盛岡市山王町 盛岡市馬場町＊ 盛岡市洪民＊ 二戸市福岡 二戸市石切所＊ 葛巻町葛巻元木 岩手町五日市＊ 一戸町高善寺＊ 八幡平市大更 八幡平市叭田＊ 九戸村伊保内＊ 矢巾町南矢幅＊ 紫波町紫波中央駅前＊ 滝沢市鶺鴒＊ 花巻市大迫町 花巻市石鳥谷町＊ 花巻市東和町＊ 遠野市青笹町＊ 一関市千厩町＊				
2026年09月07日17時47分	岩手県沿岸南部	39° 02.6' N	141° 49.1' E	57km	M3.3
岩手県	震度 1 : 一関市千厩町＊ 一関市東山町＊				
2026年09月08日16時19分	宮城県沖	38° 51.8' N	142° 02.2' E	45km	M3.6
岩手県	震度 1 : 大船渡市大船渡町 一関市千厩町＊ 一関市室根町＊ 一関市藤沢町＊				
2026年09月11日00時21分	岩手県沿岸北部	39° 45.5' N	141° 50.9' E	58km	M3.6
岩手県	震度 2 : 遠野市青笹町＊				
	震度 1 : 宮古市川井＊ 宮古市区界＊ 宮古市田老＊ 宮古市茂市＊ 田野畑村田野畑 普代村銅屋＊ 住田町世田米＊ 大槌町上町＊ 盛岡市薮川＊ 盛岡市洪民＊ 葛巻町葛巻元木 八幡平市田頭＊ 花巻市大迫町 花巻市大迫総合支所＊ 花巻市東和町＊ 一関市千厩町＊ 一関市室根町＊				
2026年09月13日13時53分	宮城県沖	38° 48.8' N	142° 00.9' E	46km	M3.3
岩手県	震度 1 : 大船渡市大船渡町 大船渡市猪川町				
2026年09月13日17時31分	津軽海峡	41° 30.0' N	141° 19.7' E	121km	M4.6
岩手県	震度 2 : 久慈市川崎町 久慈市枝成沢 軽米町軽米＊				
	震度 1 : 宮古市鉾ヶ崎 宮古市区界＊ 宮古市田老＊ 久慈市長内町＊ 田野畑村役場＊ 普代村銅屋＊ 岩手洋野町種市 岩手洋野町大野＊ 住田町世田米＊ 大槌町上町＊ 盛岡市薮川＊ 二戸市石切所＊ 二戸市浄法寺町＊ 葛巻町葛巻元木 八幡平市田頭＊ 九戸村伊保内＊				
2026年09月13日20時19分	岩手県沖	40° 20.5' N	142° 07.4' E	49km	M3.8
岩手県	震度 1 : 岩手洋野町大野＊ 軽米町軽米＊ 九戸村伊保内＊				
2026年09月14日07時17分	岩手県沿岸北部	40° 08.3' N	141° 42.9' E	12km	M2.9
岩手県	震度 1 : 久慈市川崎町				

発 震 時	震 央 地 名	北 緯	東 経	深 さ	規 模
各地の震度					
2026年09月14日19時55分	宮城県沖	38° 12.1' N	142° 05.3' E	32km	M4.1
岩手県	震度 1 : 大船渡市大船渡町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 一関市千厩町* 一関市室根町* 一関市藤沢町*				
2026年09月19日14時00分	岩手県沖	39° 08.4' N	142° 19.6' E	34km	M3.9
岩手県	震度 1 : 山田町大沢* 釜石市只越町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 大槌町上町* 遠野市青笹町* 一関市千厩町* 一関市東山町* 一関市室根町* 平泉町平泉* 奥州市前沢*				
2026年09月24日06時35分	岩手県沖	40° 22.0' N	142° 12.8' E	46km	M3.7
岩手県	震度 2 : 軽米町軽米* 震度 1 : 久慈市川崎町 久慈市枝成沢 岩手洋野町大野* 盛岡市藪川* 八幡平市田頭* 九戸村伊保内*				
2026年09月24日21時30分	宮城県沖	38° 10.8' N	141° 42.8' E	52km	M3.8
岩手県	震度 1 : 大船渡市大船渡町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 一関市大東町 一関市千厩町* 一関市東山町* 一関市室根町* 一関市藤沢町*				
2026年09月28日10時49分	岩手県沖	39° 55.4' N	142° 25.3' E	38km	M3.4
岩手県	震度 1 : 宮古市田老*				
2026年09月28日11時05分	岩手県沖	39° 55.0' N	142° 23.1' E	38km	M3.2
岩手県	震度 1 : 宮古市田老*				
2026年09月28日21時04分	宮城県沖	38° 53.5' N	141° 58.5' E	49km	M3.5
岩手県	震度 1 : 大船渡市大船渡町 大船渡市猪川町 釜石市中妻町* 一関市千厩町*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は岩手県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。



11 月 5 日は津波防災の日です！



「津波防災の日」とは？

「津波防災の日」とは、津波対策についての理解と関心を深めることを目的として、「津波対策の推進に関する法律」により定められた日です。この法律は、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災を受けて同年 6 月に制定されました。江戸時代に大きな津波被害をもたらした「安政南海地震」が発生した日にちなみ、11 月 5 日を「津波防災の日」としています。

津波防災の日の前後に津波避難訓練を行う自治体もあります。皆さんも、津波からの避難について職場や家庭で話し合う機会とし、津波避難訓練が行われる地域にお住まいの方は訓練に参加しましょう。

11 月 5 日は
津波防災の日

安政南海地震と「稲むらの火」

安政元年（1854 年）11 月 5 日^{※1}、紀州藩広村（現在の和歌山県広川町）は安政南海地震とそれに伴う津波に襲われました。このとき 35 歳になる濱口梧陵は、逃げ遅れた村人が暗闇の中で逃げる方向を見失わないよう、道筋にあたる水田の稲むら（取り入れの終わった稲わらを屋外に積み重ねたもの）に松明で次々に火をつけ、村人を安全な場所に導き、津波から多くの命を救いました。

それからおよそ 40 年後の明治 29 年（1896 年）、ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）は安政南海地震の際の濱口梧陵の偉業をヒントに、「A Living God（生き神様）」という短編小説を書きました。その後、小学校教員の中井常蔵により小学生向けに書き改められ、「稲むらの火」と題して昭和 12 年から 10 年間、小学国語読本（5 年生）に掲載されました。読本の「稲むらの火」は、五兵衛という老人が、海が引くのを見て津波の襲来を予測^{※2}し、何も気づかない村人にこのことを知らせるため、稲むらに火をつけ、安全な場所に避難させたという話です。この「稲むらの火」は実際の話とは異なっていますが、これを学んだ小学生に深い感銘を与えるとともに、防災に関する基礎知識を伝えたと評価されています。



濱口梧陵が稲むらに火をつけようと松明を持って走る姿の銅像。広川町役場前の 稲むらの火広場。

出典：特集 津波防災の日（内閣府）

https://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/h26/76/special_01.html

【参考】稲むらの火（気象庁）

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami/inamura/p1.html>

稲むらの火と津波対策（内閣府）

<https://www.tokeikyou.or.jp/bousai/inamura-top.htm>

平成 16 年度国土交通白書

<https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h16/hakusho/h17/index.html>

※1 安政南海地震の発生日「安政元年 11 月 5 日」は旧暦での日付であり、現在の暦では 1854 年 12 月 24 日となります。

※2 実際の津波は、必ずしも「引き」から始まるとは限りません。

11 月 5 日に緊急地震速報の訓練を行います

気象庁では、令和 8 年 11 月 5 日（木）10 時 00 分頃に緊急地震速報の全国的な訓練を行い、訓練用の緊急地震速報を発信します。発信される訓練用の緊急地震速報を活用した訓練の方法などについては、以下のページをご参照ください。

緊急地震速報を活用した訓練（令和 8 年 11 月 5 日）

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/ew/kunren/2026/kunren.html>

訓練を行う方法や訓練時の行動に加えて、日頃からの備えを紹介していますので、ご確認いただき、皆さんも訓練を実施してみましょう。

※この訓練で使用する訓練用の緊急地震速報は、テレビ・ラジオや携帯電話（緊急速報メール）向けには流れません。

（本件に関する問い合わせ先：盛岡地方気象台 019-622-7870）